

編集後記

平成9年度の水辺空間に関する調査研究の成果を取りまとめた「リバーフロント研究所報告第9号をお届けいたします。

いつものことながら年度変わりの業務多忙のかたわら、原稿の取りまとめに奮闘された執筆者の方々にまず御礼申し上げます。

リバーフロント整備センターは、おかげさまで昨年設立10周年を迎えました。研究所報告も、第1号から比べると論文数が2倍以上に増え、その内容も時代の流れを反映して、多自然型川づくりに関するものをはじめ、高規格堤防、ふるさとの川づくり、水循環の関連、市民参加や地域連携に関するもの、舟運の関係といった多岐にわたる報告になりました。また、平成9年度に「河川法」の改正が行われ、今後の川づくりにおいても新たな展開が図られるとともに、当研究所報告も、さらに多様な内容になるものと思われる。

今後とも、この報告書が少しでも皆様のお役に立ちますよう、テーマの検討を含め、努力を重ねてまいります。研究所報告をさらに充実させるために、皆様により広い視野でのご指導をお願いしたいと考えております。

最後に、本研究所報告の刊行にあたり、ご指導を賜った学識経験者、ご支援いただいた建設省河川局および各地建、公団、各都道府県、各市町村の各位に厚く御礼申し上げます。

編集担当 研究第三部 片田 雅文
江崎 竜二

1998年3月31日発行

リバーフロント研究所報告

第9号

発行者 財団法人 リバーフロント整備センター
〒102-0075 東京都千代田区三番町3番地8
(泉館三番町3階)
TEL 03-3265-7121 FAX 03-3265-7456

印刷所 西印刷株式会社
